インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 36 週（ 2026/8/31～9/6 ）感染症発生動向調査速報値（ 2026/9/9 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **160** 人、定点医療機関当たり **3.33** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点）

図1. 患者報告数の推移（富山県）

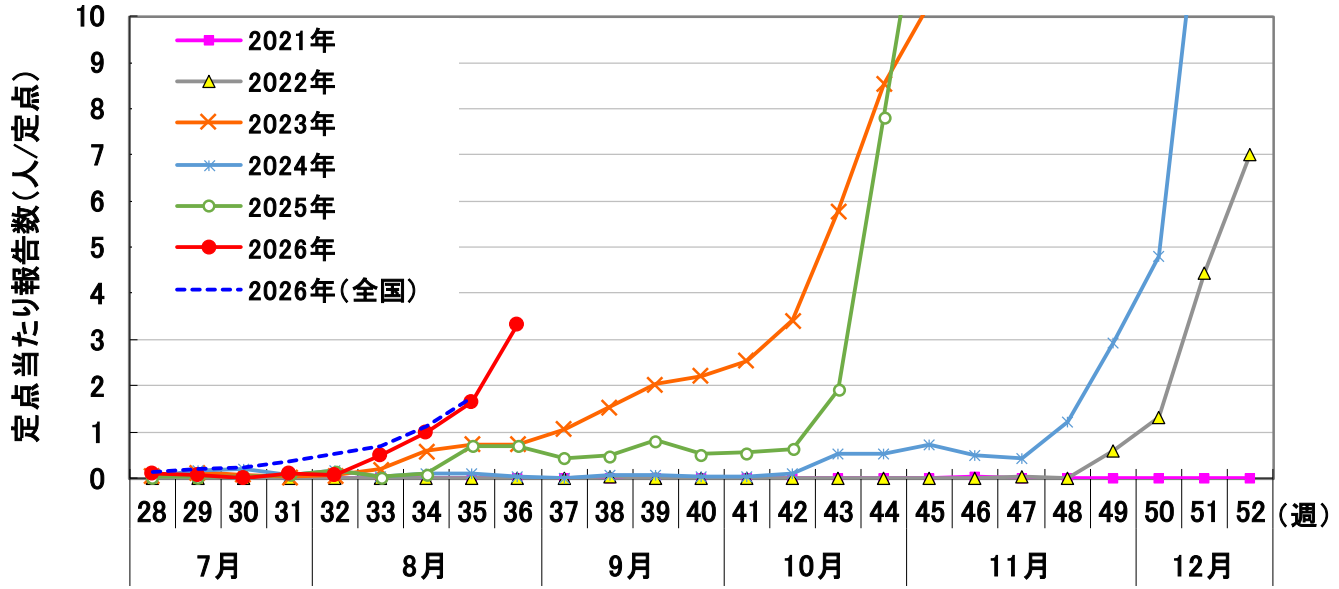
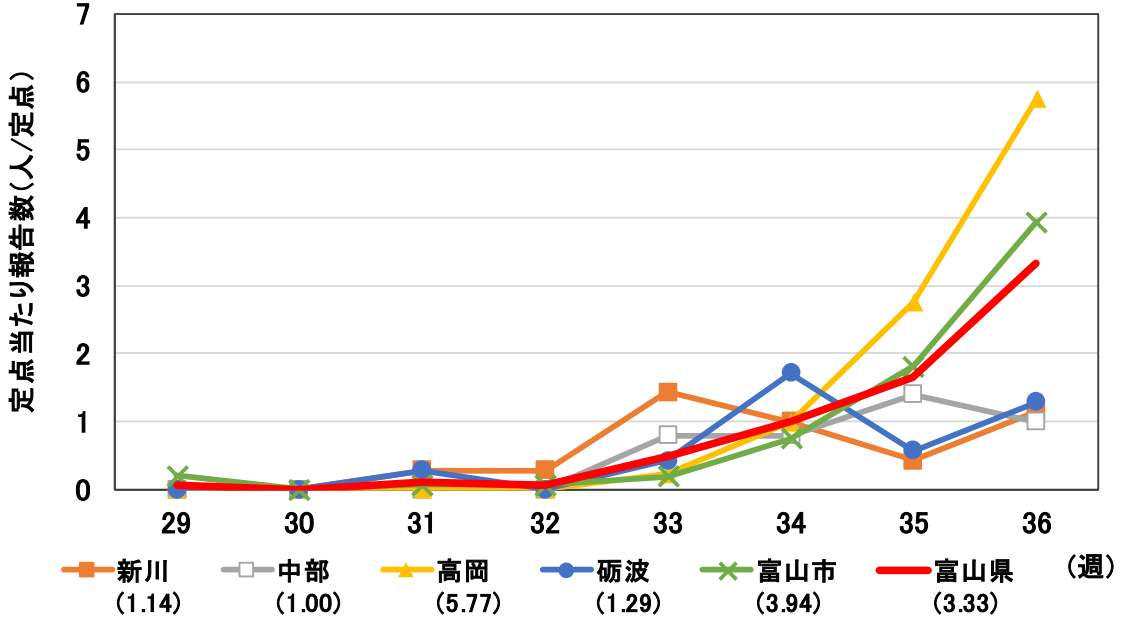


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



※（ ）内は今週の定点当たり報告数

- 富山県の患者報告数は今週3.33人/定点となり、先週（1.65人/定点）から増加した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、中部管内を除くすべての管内で先週から増加した（図2）。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

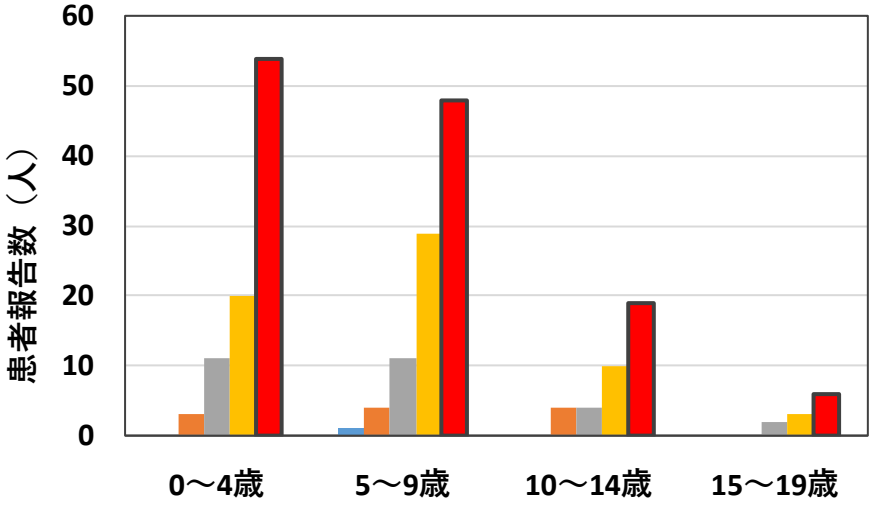
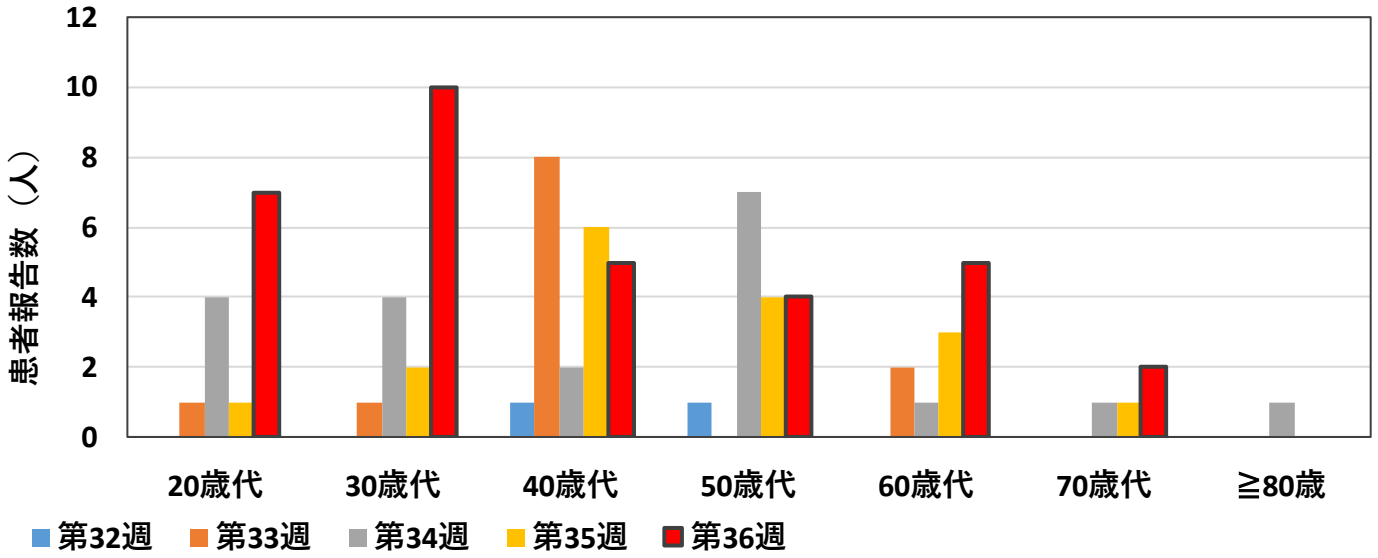


図3-2. ≧20歳



- 20歳未満、20歳代、30歳代、60歳代、70歳代で先週から増加した。
  特に10歳未満、20歳代、30歳代で大きく増加した。

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況（第35週）

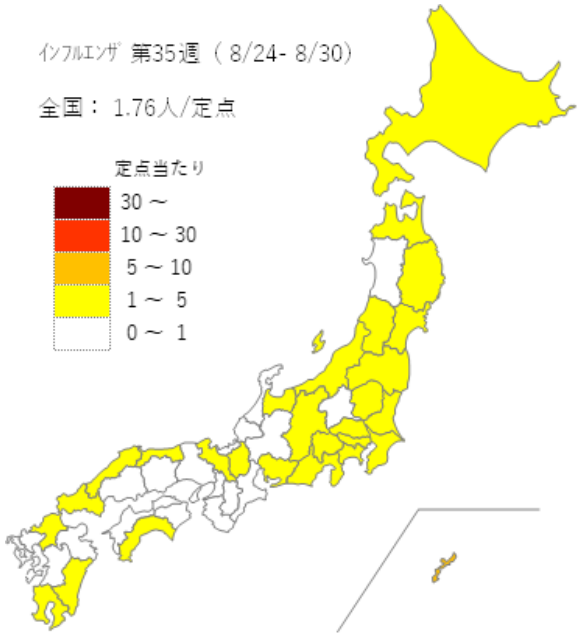


図5. インフルエンザ入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

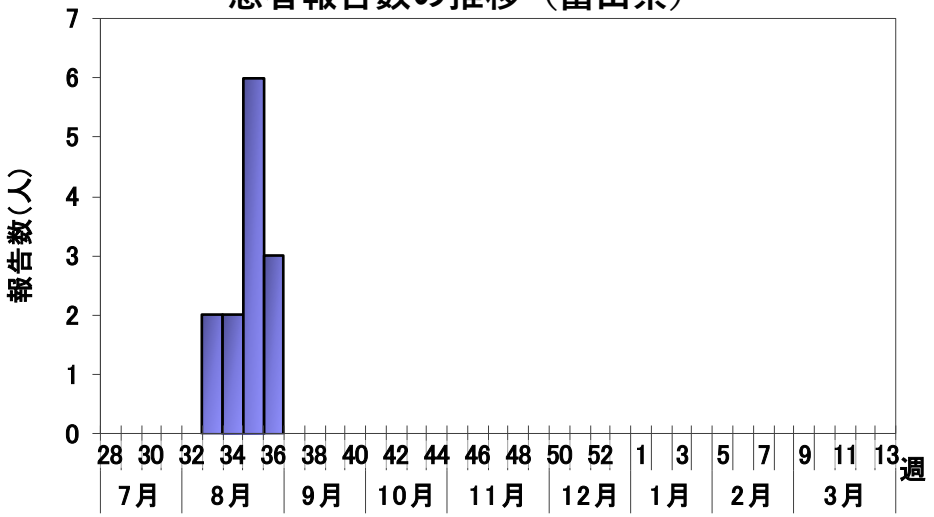
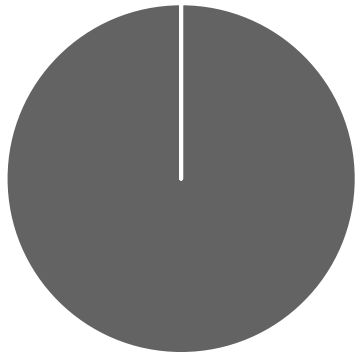


図6. インフルエンザ入院サーベイランス
年代分布（第36週、3例）



≥80歳, 3例, 100%

- 全国では第35週に1.76人/定点となり、第34週（1.11）から増加した。都道府県別にみると、27都道府県※で流行入りの目安である1.0人/定点を超えている（図4）。 ※島根県は1.00人/定点のため、27都道府県に含めない
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週3例の報告があり、先週（6例）から減少した（図5）。
- 入院患者の年代は、3例すべて80歳以上であった（図6）。
- 県内の患者報告数は先週からさらに増加した。10歳未満で特に報告数が増加したことから、乳幼児や児童を中心に感染が拡大していると考えられた。学校等での感染や成人への感染拡大が懸念され、今後の発生動向を注視する必要がある。